

1. 科目名（単位 数）	心理学実験／心理学基礎実験（4単位）	3. 科目番号	SPMP2121
2. 授業担当教員	加藤 宏一・鎌田 依里・蓮井 千恵子		PSMP2121 EDPS2301
4. 授業形態	講義・実習(グループ活動)・演習(グループ活動)・ディスカッ ション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	統計学ならびに心理統計法を履修済みであることが望ましい		
7. 講義概要	心理学を研究するための基礎となる各手法をとり上げ、生理、記憶、学習、認知、人格、社会等、心理学の 主要な分野の知識を身につけながら、それらの知識や考え方にに基づく科学的レポートの書き方を学ぶ。 実験等の体験を通して、心理学の理論を机上に終わらせることなく、身近なものとして体得することがで きる。 なお本科目は認定心理士の資格科目であり、受講生は規定数以上の実験等に参加し、レポートを提出する ことが義務付けられている。		
8. 学習目標	1.実験等の演習を通して、心理学を含む社会科学全般に必要な不可欠である各種研究法の基礎理論や技法、基 本姿勢を理解し、身につける。 2.実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解する。 3.実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理することができるように なる。 4.目的、方法、結果、考察から成る心理学研究レポートの記述の仕方を習得し、心理学的事象について、統計 処理の結果を用いて、説明、解釈できるようになる。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポ ート課題	1. 授業時間外に、実験テーマに関する資料を探す、データを収集するなどの活動が必要となる。 2. 全ての実験（含む心理検査）それぞれの終了時にレポート作成が求められる。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 野島 一彦、繁樹 算男他『第6巻 心理学実験（公認心理師の基礎と実践）』遠見書房 【参考書】 B. フィンドレイ『心理学 実験・研究レポートの書き方』北大路書房。 山田剛史・村井潤一郎『よくわかる心理統計』ミネルヴァ書房。 岸学(著)『SPSSによるやさしい統計学』オーム社。 石村貞夫(著)『SPSSによる分散分析と多重比較の手順』東京図書。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1.実験等の演習を通して、各種研究法の基礎理論や技法、基本姿勢を理解し身につけていること 2.実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解していること 3.実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理できること 4.目的、方法、結果、考察から成る標準的な心理学研究レポートの記述の仕方を習得していること ○成績評価の評定方法 学則で決められた単位取得の条件を満たしていること(3/4 以上の出席)を前提として、授業態度(授業および グループ発表への積極的参加)30%、課題レポート 70%として算出した合計得点により成績評価を行う。		
12. 受講生への メッセージ	「心」は誰もが持っているものですが、客観的に「心」について考えることは意外と少ないものです。本授 業を通して身近な「心」を「心理学」という視点で捉え直してみましょう。また、この授業は受講者自らが 主体的に考えること、さらに考えたことを適切に記述し、伝えることの訓練でもあります。授業中はもちろん のこと、授業外でも疑問に思ったことは進んで質問してください。 1. 授業中は、常に高い緊張感と集中力を保ち、また積極的な態度で参加することが求められる。 2. 授業中は、私語、居眠りは絶対にしないこと。加えて Zoom によるオンライン授業においては、ブレイク アウトルームを用いたグループ作業に必ず参加すること。事情の説明なく速やかにブレイクアウトル ームへ移動しない受講生については、欠席扱いにすることがある。 3. 授業のための準備を欠かさずする。本授業では授業時間外の活動が必須となる。 4. 理解できないことがあれば、授業中、授業外(オフィスアワー等)に自ら進んで教員に質問する。 5. レポートの提出期限を厳守する。レポートの提出期限が守られない場合は、正当な理由がない限り、1 日につき1点ずつ減点される。 6. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしない。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を 必ず書面をもって教員に報告する。また、Zoom によるオンライン授業において、教員から呼びかけられ た際には、即時に応答する。事情の説明なく応答しない学生については、欠席扱いにすることもある。 7. 授業中の携帯電話の作動は厳禁とする。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	鎌田担当①：「ミューラーリヤー錯視」概要の説明	事前学習	心理統計法の復習をしておくこと
		事後学習	配布した資料を熟読しておくこと
第2回	鎌田担当②：「ミューラーリヤー錯視」実験の実施、 実験結果の整理	事前学習	実験の手法について理解したことを整理して おくこと
		事後学習	実験結果の整理を各自で行うこと
第3回	鎌田担当③：実験結果の整理・データ解析・レポート の作成（1）	事前学習	実験結果から読み取れることを考えておくこ と
		事後学習	レポート作成準備
第4回	鎌田担当④：実験結果の整理・データ解析・レポート	事前学習	実験結果から考えられることをまとめておく

	の作成（２）		こと。
		事後学習	レポート作成
第５回	鎌田担当⑤：「日常記憶」概要の説明	事前学習	これまでの授業で学んだことを整理しておくこと
		事後学習	配布した資料を熟読しておくこと
第６回	鎌田担当⑥：「日常記憶」実験の実施、実験結果の整理	事前学習	実験の手法について理解したことを整理しておくこと
		事後学習	実験結果から読み取れることを考えておくこと
第７回	鎌田担当⑦：実験結果の整理・データ解析・レポートの作成	事前学習	実験結果から考えられることを考えておくこと
		事後学習	レポート作成
第８回	鎌田担当⑧：「空書」概要の説明	事前学習	これまでの授業で学んだことを整理しておくこと
		事後学習	配布した資料を熟読しておくこと
第９回	鎌田担当⑨：「空書」実験の実施、実験結果の整理	事前学習	実験の手法について理解したことを整理しておくこと
		事後学習	実験結果から読み取れることを考えておくこと
第１０回	鎌田担当⑩：実験結果の整理・データ解析・レポートの作成	事前学習	実験結果から考えられることを整理しておくこと
		事後学習	レポート作成
第１１回	加藤担当①：「鏡映描写：学習の転移」概要説明、実験の実施	事前学習	実験法及びデータ解析の復習
		事後学習	「鏡映描写・学習の転移」に関する配付資料を読み、研究概要について理解を深める
第１２回	加藤担当②：実験結果の整理、仮説・分析計画の検討	事前学習	実験法及びデータ解析の復習
		事後学習	「鏡映描写・学習の転移」に関する配付資料を読み、研究概要について理解を深める
第１３回	加藤担当③：実験結果の整理・データ解析・レポートの作成（１）	事前学習	実験結果の整理とデータ解析の準備
		事後学習	実験レポートの作成
第１４回	加藤担当④：実験結果の整理・データ解析・レポートの作成（２）	事前学習	実験結果の整理とデータ解析の準備
		事後学習	実験レポートの作成
第１５回	加藤担当⑤：「パーソナル・スペース」概要説明、実験の実施	事前学習	「パーソナル・スペース」に関する配付資料を読み、研究概要について理解する
		事後学習	収集データの整理
第１６回	加藤担当⑥：実験結果の整理、仮説・分析計画の検討	事前学習	「パーソナル・スペース」に関する配付資料を読み、研究概要について理解する
		事後学習	収集データの整理
第１７回	加藤担当⑦：実験結果の整理・データ解析・レポートの作成（１）	事前学習	配布資料の再読、データ解析の準備
		事後学習	実験レポートの作成
第１８回	加藤担当⑧：実験データの整理・データ解析・レポートの作成（２）	事前学習	配布資料の再読、データ解析の準備
		事後学習	実験レポートの作成
第１９回	加藤担当⑨：「ストループ効果」概要説明、実験の実施	事前学習	「ストループ効果」に関する配付資料を読み、研究概要について理解する
		事後学習	配布資料の再読、実験レポートの作成
第２０回	加藤担当⑩：実験結果の整理・データ解析・レポートの作成	事前学習	「ストループ効果」に関する配付資料を読み、研究概要について理解する
		事後学習	配布資料の再読、実験レポートの作成
第２１回	蓮井担当①：「STAI 尺度」概要理解	事前学習	STAI 尺度について調べておく
		事後学習	授業中に示した資料を熟読する
第２２回	蓮井担当②：調査計画、調査実施	事前学習	調査を実施する際に必要な手続きについてまとめておく
		事後学習	調査手順を再度復習し、忠実に再現できるようにしておく
第２３回	蓮井担当③：収集データの整理	事前学習	収集データの整理方法を調べておく
		事後学習	収集データを色々な角度から整理し、統計的分析を行なう
第２４回	蓮井担当④：レポート作成	事前学習	結果から考えられることをまとめておく。レポートの作成の仕方を調べておく
		事後学習	レポートを仕上げる
第２５回	蓮井担当⑤：「社会的促進」概要説明	事前学習	社会的促進について調べておく
		事後学習	授業中に示した資料を熟読する
第２６回	蓮井担当⑥：実験計画、実験実施	事前学習	実験を実施する際に必要な手続きを整理する
		事後学習	実験手順を再度復習し、忠実に再現できるように

			にしておく
第 2 7 回	蓮井担当⑦：実験データの整理 レポートの作成	事前学習	実験データの整理方法を調べておく
		事後学習	実験データを色々な角度から整理し、統計的分析を行なう
第 2 8 回	蓮井担当⑧：単純接触効果の概要理解	事前学習	結果から考えられることをまとめておく。レポートの作成の仕方を調べておく
		事後学習	レポートを仕上げる
第 2 9 回	蓮井担当⑨：「単純接触効果」実験概要、実験準備	事前学習	単純接触効果について調べておく
		事後学習	実験の手順について復習しておく
第 3 0 回	蓮井担当⑩：実験データの整理、レポートの作成	事前学習	実験データの整理を行い、統計的分析を行なう
		事後学習	レポートを作成する